

Ohnishi Laboratory

バイオシグナル分野

Laboratory of Biosignal Sciences

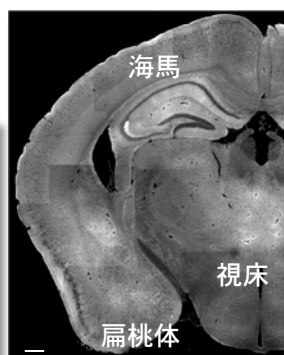
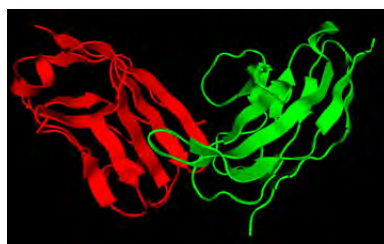
未知の機能分子から新たな生体制御システムの解明へ

生体調節研究所バイオシグナル分野では、新たな生体制御システムの発見とその臨床応用を目指し、生化学、分子生物学、細胞生物学、行動解析などの手法を用いて分子から個体まで幅広い研究を展開しています。

現在進行中のプロジェクト

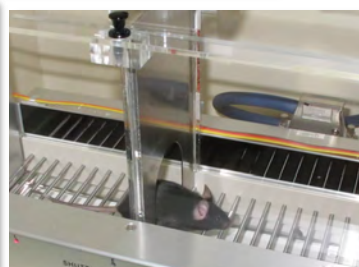
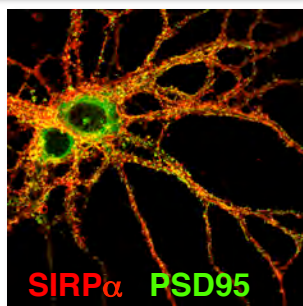
1. チロシン脱リン酸化酵素による脳高次機能制御に関する研究
2. 脳内免疫システムによる脳機能制御機構の解明
3. 恒温動物細胞に備わる低温応答シグナルの機能解明

細胞間相互作用によりシグナルを伝える機能分子の構造モデル



強制水泳刺激によるマウス脳内チロシンリン酸化シグナルの増強

培養マウス海馬神経細胞での機能分子の発現解析



遺伝子改変マウスの行動解析実験

大学院生募集中

現在、3名の大学院生が所属しています。各人の能力を最大限伸ばせるよう、丁寧に指導しています。研究に興味のある方はご相談下さい。

最近の論文

Hypothermia-induced tyrosine phosphorylation of SIRPα in the brain

J. Neurochem. 121, 891-902, 2012

Src family kinases: modulators of neurotransmitter receptor function and behavior

Trends Neurosci. 34, 629-637, 2011

Stress-evoked tyrosine phosphorylation of signal regulatory protein α regulates behavioral immobility in the forced swim test

J. Neurosci. 30, 10472-10483, 2010

習得できる技術

生化学的研究手法、分子生物学的研究、組織化学的研究手法、イメージング解析、遺伝子改変動物を用いた行動解析 など

<連絡先>

大西浩史(オニシヒロシ)

Tel: 027-220-8882(教官室), 8878(実験室)

E-mail: ohnishih@gunma-u.ac.jp

URL: <http://biosignal.dept.med.gunma-u.ac.jp/>